

県士会 ニュース



Kanagawa Association of Occupational Therapists — KAOT —

Contents TOPIC

- 11 第4回神奈川県臨床作業療法大会の開催のお知らせ
- 12 台風19号(ハギビス)による被害について～被害状況把握のお願い～
- 1 巻頭言
- 4 200号発刊にあたって
- 4 公益法人格取得への道～なぜ「公益認定」を受けるのか～
- 5 理事会議事録
- 6 連載コラム ちょっと一杯どうですか？
- 7 各部からの報告
- 9 第4回神奈川県訪問リハビリテーション学術集会開催
- 10 研修会案内
- 11 事務局からのお願い
- 11 編集後記

巻頭言

発行200号記念 県士会ニュースの37年

広報部 ニュース班

●今号をもって県士会ニュースは200号を迎えた。1982年から37年発行されてきたことになる。ちなみ現編集長がまだ小学生だった時である。また東京都士会員より神奈川県士会員になったのは124号の頃。長い長い歴史だ。今号はこの200号の節目にこれまでのニュースを振り返ってみたい。本校執筆にあたり横浜市関内にある神奈川県作業療法士会事務局を尋ねたが、1号から199号まできれいに保管されていた。

保管されている県士会ニュース 古いものはファイリングがなされている▶



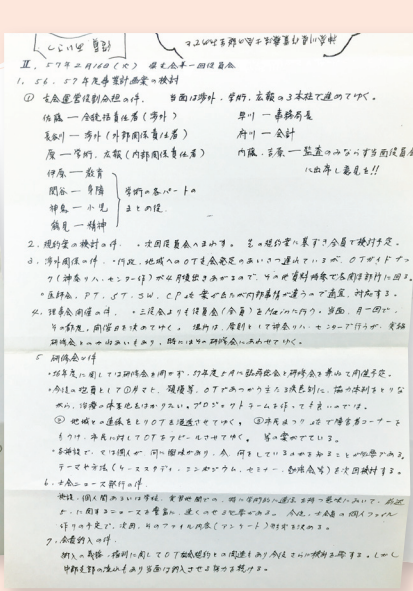
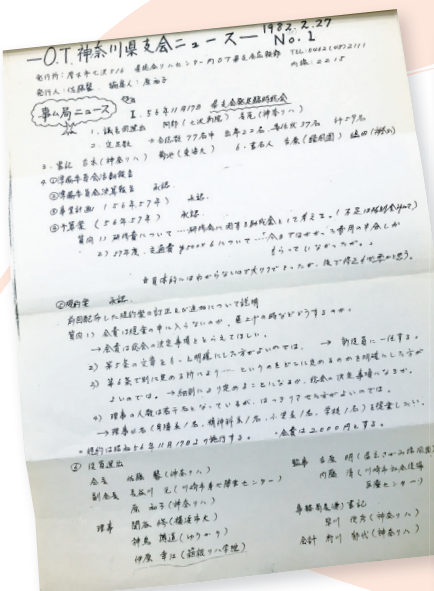
1. 1号、100号、そして200号

200号は皆さん今日にしている通りであるが、いったい記念すべき1号はどんなものであったのだろうか。本物が以下の写真である。

1982年(昭和57年)2月27日発行で、B4サイズで縦書き3ページである。手書きによる印刷物である。

この頃はコンビニだって少なかったから、コピー機もそれほど普及していない頃である。印刷も容易ではなかった筈だ。1頁目には発足臨時総会の記録が載っており、県士会員の総数は77名であったとのこと。2頁には第1回役員会の議事録、3頁目には役員あいさつという紙面構成になっている。

記念すべき
第1号



では時が進んで100号ではどんな紙面だったのか？2003年（平成15年）2月発行であり、A4サイズでワードプロセッサによる文字で仕上げられている。特に巻頭は編集に関わった方たちの似顔絵による紹介になっている。内容として本号と同様に100号までの歩みを振り返りこれまでどのような記事が掲載されてきたかを紹介している。またニュースの出来るまでが写真と共に丁寧に紹介されている。

ちなみに50号、150号は何も記念号になっておらず平常の発行となっている。

2. ニュースの昔と今

1) 記事内容の違いは「ある」？「ない」？

バックナンバーを見てわかることは、発足時から現在までに内容的な違いが実はさほど「ない」ということだ。

総会や役員会議で決議された事項、会費の執行状況といった士会の運営に関わる重要事項のほか学会や研修会の告知など、またまたOT分野の開拓者となる方たちの取材、その時のトピックとなる話題の記事などは昔から今でも変わらず掲載されてきている。

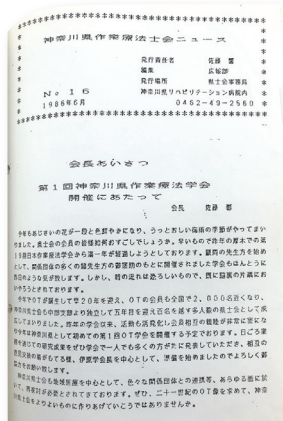
これは会員に有益な情報を提供するという「会報」の役割を37年きっちり全うしてきていると言える。

2) ルックスに違いが「ある」？「ない」？

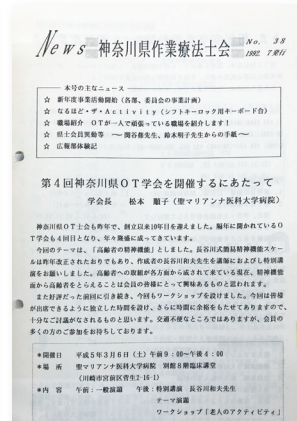
これは間違いなくある。先にご覧いただいたように1号と100号ではレイアウトやデザインが異なっている。経時的に見ると8号（1983年：昭和58年、5月）で一度横型になる①。その後16号（1986年：昭和61年、6月）でワードプロセッサによる文字となり、おおむね紙面デザインが決定される②。このスタイルは1992年まで続き、1989年ころから表紙に毎号巻頭言が載る。それまでは総会報告など巻頭言がない号もあった。

その後38号で（1992年：平成4年、7月）でまたデザインが一新されほぼ現状のニュース形態に近くなる。翌年1993年から2カ月おき年間6回発行が始まり現在に至る。サイズの面では77号（1999年：平成11年、5月）でA4サイズになり形態も現在にぐっと近づく③。143号（2010年：平成22年、5月）では第一資料印刷による専門業者のレイアウトとなり会報の印刷物としての質がぐっと高まる④。

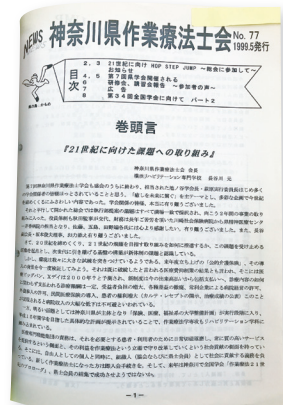
また179号（2016年：平成28年、5月）より作品コーナーができ、巻頭・巻末がフルカラーになった⑤。185号（2017年平成29年、5月）より今に続く現行のスタイルとなった。この号の巻頭言は日本作業療法士協会の中村春基会長である⑥。



①横型になった8号



②初ワープロ打ちの16号



③A4化77号



④専門業者のレイアウト化



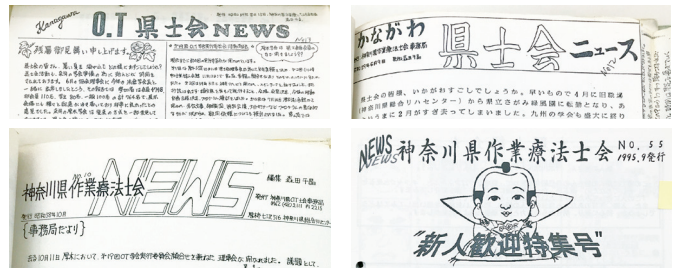
⑤初のフルカラー化



⑥現行スタイルの初号

3. 神奈川県士会ニュースの特徴

なんと言ってもイラストやレタリングのレベルがやたら高い点ではないだろうか。特に専門業者委託前の発行号のレベルはすさまじく高い。また毎号何か求めるように、デザインが個性的に変わる時代もある。これも作業療法士という職種ならではの特性だろうか。



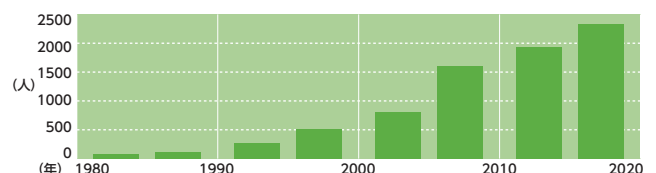
4. 37年間の県士会員数とニュースと世の中の出来事の年表

「年大流行」より引用、一部改変
<https://nendai-ryuukou.com/2010/>

年号	会員数	ニュースの出来事	国内の出来事
1982年 (昭和57年)	80名	1号創刊	<ul style="list-style-type: none"> ・テレホンカード使用開始 ・ホテルニュージャパン火災発生 ・「森田一義アワー 笑っていいとも!」が放送開始 ・気くばりのすすめ (鈴木健二) ベストセラー
1986年 (昭和61年)	115名	16号 ワープロ打ちに	<ul style="list-style-type: none"> ・日本初の女性党首・社会党土井たか子委員長誕生 ・シートベルトの着用が原則義務化 ・レンズ付きフィルム「写ルンです」発売 ・エニックスがドラゴンクエスト発売
1993年 (平成5年)	262名	2か月おき 発行開始	<ul style="list-style-type: none"> ・天皇陛下、雅子皇后さま御結婚 ・ロスタイム失点でW杯出場を逃す「ドーハの悲劇」 ・日本一の高さ、横浜ランドマークタワーが開業 ・マイクロソフトがウィンドウズ 3.1 が発売
1999年 (平成11年)	511名	77号 サイズのA4化	<ul style="list-style-type: none"> ・石原慎太郎が東京都知事に ・コンピュータ・システムが大混乱と言われた2000年問題 ・かかと高15cm～20cmの厚底靴人気 ・五体不満足 (乙武洋匡) がベストセラー
2003年 (平成15年)	805名	100号を 迎える	<ul style="list-style-type: none"> ・中国で重症急性呼吸器症候群 (SARS) が流行 ・テツ and トモ「なんでだろう～」流行 ・地上デジタルテレビ放送が開始。
2010年 (平成22年)	1598名	143号 業者レイアウト化	<ul style="list-style-type: none"> ・小惑星探査機「はやぶさ」が地球に帰還 ・食べるラー油がヒット ・AKB48 ブーム
2016年 (平成28年)	1933名	185号 高陽印刷所で フルカラー化	<ul style="list-style-type: none"> ・日本メダル最多41個獲得のロンドン五輪が開催 ・ラピュタ「バルス祭り」再来
2019年 (令和元年)	2324名	現在	<ul style="list-style-type: none"> ・ラグビーワールドカップ

このように年表を見てみると、県士会の構成員が増えたのは2000年代以降、100号以降のころとなる。そうすると巻頭の過去のニュースを目にするのは初めてだった方がほとんどになるであろう。古きを温めて新しきを知るよき機会になったとすれば幸いである。

● 会員数の推移



200号発刊にあたって

一般社団法人神奈川県作業療法士会 会長 鏡内 広之

1981年11月17日、88名の会員により当会は産声をあげました。

“あれから40年！”（実際には38年ですが）、地道に継続して県士会ニュース200号の発刊を迎える事ができました。これは会員皆様のご協力の賜物ですが、加えて、これまで“記事を集めて、取材に行き、原稿を依頼して、校正して、編集して、印刷業者を選定して、発注して、封筒につめて、宛名を書いて、ポストに入れて”全ての会員・役員皆様の努力の成果だと思います。

現在はパソコンや印刷機といった便利な道具がありますが、第1号発刊にあたっては、手書きでなんども何度も書き直し、1枚1枚…（私の年齢でも印刷方法はわかりません！）ということは、容易に推測できます。

200号は県士会の歴史において単なる通過地点ではありますが、当会、あるいは作業療法の歴史を紐解く重要な財産です。今後も引き続き地道に継続していきます事をお約束して、発刊にあたってのご挨拶とさせていただきます。

公益法人格取得への道 ～なぜ「公益認定」を受けるのか～

公益法人化対策委員会 澤口 勇

そもそもなぜ、公益法人格を取得する必要があるのか？そのことも踏まえつつ、今号より「公益社団法人」について、より詳しく解説していきます。

まず一番のポイントは「一般社団法人」は法人法の要件を満たせば、登記のみで設立可能という点であり、現在の（一社）神奈川県作業療法士会がその形態なのですが「公益社団法人」とは「一般社団法人や一般財団法人」のうち、認定法の基準を満たしている法人を、行政庁が「公益認定」することで初めて設立となります。公益認定を受けるには法令やガイドラインで明確に定められた基準があり、審査する機関も国（内閣府）や都道府県の中にある公益認定等審議会で審査を受けます。以下は「公益目的事業」の定義とその審査基準です。

「公益目的事業」の定義（公益法人認定法第2条第4号）

学術、技芸、慈善その他の公益に関する別表各号に掲げる種類の事業であって、不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与するものをいう。

※「別表各号に掲げる公益目的23事業」（公益法人認定法 別表（第二条関係））

- 1) 学術及び化学技術の振興を目的とする事業
- 2) 文化及び芸術の振興を目的とする事業
- 3) 障害者若しくは生活困窮者又は事故、災害若しくは犯罪による被害者の支援を目的とする事業

4) 高齢者の福祉の増進を目的とする事業（中略）

22) 一般消費者の利益の擁護又は増進を目的とする事業

23) 前号各号に掲げるもののほかに、公益に関する事業として政令で定めるもの

審査基準ですが、私たちが行う「公益事業」と称する事業が実際に「公益目的23事業」のいずれかに該当しているか、そして個々の事業が不特定（例えば会員のみといった特定の人だけを対象としない）かつ多数の利益を増進するための事業となっているのか、という観点から審査を受けます。

現在私たちは一般社団法人として行っている事業の一部を自分たちで「公益事業」と名乗っています。幸い学会等で行う市民講座には大勢の市民にご参加頂いておりますが、公益認定を受けた際にはより社会的信用がある（同時に責任も重なる）講座と位置付けられます。また今後は県の公益法人等のリストに載りますので、これまで作業療法を知っていても当会を知らなかった地域市民や行政の方もリストから当会の存在と事業目的などを知って頂ける機会が各段に増え、市民講座などの依頼も増えるかもしれません。県内くまなく作業療法サービスを提供するためには「公益認定」を受けることが必然なのです。

理事会議事録

★ 2019年度8月21日 理事会議事録

1. 日時：2019年8月20日（木）19：00～21：28
2. 場所：神奈川県作業療法士会事務局
3. 参加理事：錠内・野々垣・木村・金山・佐々木・奥原・神保・玖島・遠藤・野本
神田・佐藤範・戸塚（WEB参加）・澤口・佐藤良・西川・大郷（17名）
欠席理事：吉本（1名）
参加監事：田中（1名）
欠席監事：鶴見（1名）
その他：沼田（制度対策部福祉用具班長）
4. 審議事項
 - (1) 事務局
 - 1) 組織図の検討について 臨時三役会（ワーキングチーム）で案を作っていく。次の理事改選時には新しい組織運営を実践していく方向で検討していく。
 - 2) 連絡先不明会員について 連絡がとれない会員について規約委員会とともに再検討する。⇒継続審議
 - 3) 後援について 「第23回医療・健康フェスティバル」「ベッドサイド実践講習会」「病院学会」⇒承認
 - 4) 県士会会員管理システムについて ファイルメーカーのバージョンアップとレイアウトの修正をともクリエーションズに依頼する。
 - 5) 神奈川県医療専門職連合会負担金について 2030名分の会員負担金と定額負担金あわせて253,000円を納付予定
 - (2) 学術部
 - 1) 部員の承認 西前英樹氏（藤沢病院）、渡邊誠氏（北里大学）⇒承認
 - 2) 研究助成事業について 3件の依頼あり。対象者には申請金額を精査し再検討を依頼することにした。⇒承認
 - (3) 教育部
 - 1) 臨床実習指導者講習会について PT士会、全国リハビリテーション学校協会神奈川県連絡校と協議会を開催。事務局積立を使用予定。
 - 2) SIG承認について 神奈川県自動車運転と作業療法研究会⇒承認
 - 3) 部員の承認 平本悠祐氏（横浜舞岡病院）、加藤実帆子氏（川崎市中央療育センター）⇒承認
 - (4) 広報部
 - 1) 言語聴覚の日 in かながわ 9月29日（日）横須賀
 - 2) ハローよこはま 10月13日（日）横浜市中区
 - 3) かわさき介護フェア 10月～11月予定 川崎市内（溝の口）

- 4) 介護フェア 10月予定 横浜市西区
- (5) 地域リハビリテーション部
 - 1) 部員の承認 増子拓真氏（たすく株式会社）、渡辺圭祐氏（自宅：国際医療福祉大学熱海病院）⇒承認
 - 2) 地域リハ人材育成研修会（総合事業編）3月頃 会場未定
 - 3) 地域包括ケアシステム三団体合同研修会 開催日未定 会場未定
 - 4) 難病リハビリテーション講習会 2019 2月2日（日）横浜 YMCA 学院専門学校
 - 5) 訪問リハビリテーション学術集会 2020年1月18日（土）
 - 6) 藤沢市地域ケア会議のリハ専門職派遣、参加依頼 県士会会員を中心に協力して頂いている
- (6) 制度対策部
 - 1) 福祉用具班 生活行為工夫モデル事業について 事例集が完成。活用報告依頼。
- (7) 学会評議委員会
 - 1) 部員の承認 須鎌康介氏（湘南医療大学）⇒承認
 - 2) 第4回神奈川県臨床作業療法大会 2020年12月12日（土）関内新井ホールで決定。
- (8) 認知症対策委員会
 - 1) イベントへの単発参加について 認知症と家族の会への参加については交通費と保険を委員会で負担。研修会に参加した会員の中から募っていく予定。
 - 2) 部員の承認 森山康平氏（鶴巻温泉病院）⇒承認
- (9) エリア化推進委員会
 - 1) 会員交流会の会員外参加について 交流会は無料開催となる。会員外のOT参加もよしとし、入会を勧める。非会員の場合は500円程度の参加費も検討。
 - 2) 会員交流会（OTコネクトミーティング）について 2019年11月～2020年1月にかけて県内8か所にて実施予定。分野や職場を超えた顔が見えるナメの関係づくりの促進を目指す。
5. 渉外報告
 - (1) 介護予防のための地域ケア個別会議 吉本理事、黒木氏参加
 - (2) 藤沢市地域ケア会議 吉本理事参加
 - (3) 神奈川県障害者スポーツ推進プロジェクト 第1回検討会 野々垣副会長参加
 - (4) 第38回神奈川県病院学会 第2回学術委員会 錠内会長参加
 - (5) 第2回47都道府県委員会 初日錠内会長参加・2日目金山事務局長参加
 - (6) 医療職連合会定時理事会 錠内会長・金山事務局長参加
 - (7) 介護人材育成・定着部会 金山事務局長参加

以上、文責（金山）



ちょっと一杯 どうですか？

No. 13 「時代」



『おじちゃん』って近所の子供たちに呼ばれている私も、自宅近くの病院に勤務する作業療法士。病院では、誰からも『〇〇先生』と呼ばれている。

近頃、たまに『時代』という言葉が気になる時がある。“時代とは、ある観点によって区切られたひとまとまりのこと(広辞苑)”らしい。職場で若いスタッフと共に人生経験の豊富な80歳前後の患者さんを受け持っている、色々な『時代』を感じる事が楽しい。“戦争時代に青春はなかったから、いいわよねえ、今の若い人達は…” “最近のニュースって、本当に恐ろしい話題が多いわよね。昔はこんな話は聞かなかったけど…” などなど。なるほど、皆それぞれの過去と未来の思想、そして現実感を時間的な尺度で今を一生懸命に生きている。私も“時代色”を楽しんでいる1人だ。休日に読む本は時代小説。読む本がなくなると現代小説。必ず終戦記念日には“すいとん”を食べると決めているが、大好きな“すいとん”は時々食卓に登場する。その“すいとん”を食べながら、深田恭子主演のテレビドラマに釘づけとなり、終わるやいなやモードを切り替え締切間近の資料作り…。色々な『時代』が短時間で行き交う。ある時の会議では『今の時代って〇〇だから、この企画は若い人達に抵抗があるかもね…』とか、『〇〇って今の時代にあっていないよね…』『それはちょっと時代遅れ…アナログですよ』など、話は参加している会議メンバーのそれぞれの時代背景で話が進む。所謂、色々な事象・経験・記憶を引き合いに出し、個々の『時代』を振り返って今と昔の風情を楽しんでいる。人は皆、色んな『時代』『歴史』を背負って生きている。それが何気に人それぞれの“色合い”となり“個性”に着色されるのだろう。そういえば、昔はよく“時や時代の歌”をカラオケで歌った。中島みゆきの「時代」、川島永伍の「時代おくれ」、矢沢栄吉の「時間よ止まれ」。どれもその時に生きてきた時代を象徴し、自分の納得を探し求めていた、そんな時代だった。

さて、今に目を移すと、世の中に蔓延る便利さが当たり前となっている時代となった。逆に不便さを経験することができない時代でもある。そして臨床の現場でもなんとなく『時代』の感じ方や捉え方に変化があるような気がする。例えば、以前遭遇したワンシーン。とある中堅セラピストが、人生経験の豊富な90歳前後の患者さんを担当している。「今は右手が脳梗塞で全く動かなくなっちゃったけど、終戦後は国の復興のためによく働いたんだよ」と、昔の話を始めて目が生き活きとしてきた時、担当は「そうですか…じゃ、これやってください」と言い、道具を置いて去って行った時の患者の何とも言えない表情が忘れられない。実に悲しい瞬間を目にしてしまった。作業療法士ならば分かる話だが、患者の気持ちを省くことはすなわち作業療法の意味を省くことになる。患者とセラピストの互いの「時間」や「時代」を尊重した雰囲気は少なくなってきたのだろうか？ これも『時代』のイタズラかなあ。

昨今の実習スタイルも『時代』に合わせて変化してきたようだ。どんな背景があったのだろうか。義務教育環境の変化、専門職教育環境の変化、家庭教育環境の変化、そして、ITや情報社会環境の変化など、話は尽きない。先日、評価実習に来た20歳の学生さんが、緊張気味に50代の女性患者に話しかけている。“宜しくお願いたします…”女性患者さんは朗らかに緊張をほぐしてくれているようだ。“あのねえ、一人暮らしで作る料理はね、〇〇と〇〇をさっと茹でてね、余ったら冷凍してね…”と、自分の怪我やりハビリの話しはさておき、一人暮らしの知恵袋をお披露目していたところだった。「ん、まずまずの出だしだ。学生も笑顔で答えているぞ。よしよし…患者との何気ない良い距離感ができたぞ。あとは、どのようにして治療環境に変化させるかなあ…」などと、お節介にも先立つイメージを抱きながら指導者は遠目で見ている。臨床現場で、兎角実習の土台を上手に引き立ててくれるのは、何と言っても患者さん。不安だらけの学生の背中を自然な形で押ししてくれる。その女性患者さんが生きた過去の時代に触れ、生きている今の時代を共に考え、そして、これからの未来の時代を尋ねる姿が現場にある。さあ、学生さんにとっていい実習の始まりだ。限られた期間で何を学ぶか？感じるものはどれだけあるか？様々な治療環境を活かした作業療法ができるか？色々な想像を広げてレポートに書き綴ってみよう。自分と患者の間にできた治療環境下で頭に浮かんだ視点や介入ポイントを書きだして、自由な症例レポートを作成してみよう。指導者は多彩な自由度と多角的な視点で丁寧にサポートしよう。修正が必要ならば適正かつ適切な思考の角度で指導しよう。今は一定水準の臨床実習に対する指導マニュアルが示され、指導方法も変革されてきたが、果たして、現場が最も必要としている応用性への期待はどのくらい向上するのであろう。作業療法士の教育課程において背負った『時代』背景を鑑み我々はずっともっと学生の個性と作業療法の意義の理解を深めてみたいものである。「どうせやるなら…色々作業療法を深め、患者さんが心から喜ぶ楽しい作業療法をしよう！」と。作業療法士を夢見る学生さんたちにとって、学生時代から自由な発想と多彩な可能性が満ち溢れる卒前卒後教育と豊かな指導の『時代』となるように期待したい。

今回の県士会ニュースは、記念すべき200回目の発行とのこと。おめでとうございます。過去の作業療法士たちの想いがぎっしりと詰まった歴史的な紙面には、きっと沢山の光輝く『時代』が感じられると思います。素晴らしいですね。

今回も登場した“おじちゃん”。OTを一生涯の仕事と決意し、長いOTの歴史と共に奮闘している“おじちゃん”です。あくまでもおじちゃん視点での作業療法学を織り交ぜた連載コラムです。面白エピソード満載です。次回もお楽しみに。(文責：ペンネーム おじちゃん)

各部からの報告

学術部研究助成班

2019年度の研究助成事業の支給者決定

(文責：学術部 佐々木)

本年度の申請者は、研究Ⅰ（研究組織2法人以上の一般会員）が1名、研究Ⅱ（免許取得後7年目までの若手会員）が2名の合計3名でした。書類審査および合議審査の結果、3名全例に対し助成金を支給することになりました。本年度の3件の研究領域では、身障、精神、発達分野と多岐にわたる承認となり、クライアントや会員にとって有益な研究となることを祈っております。

若手会員対象の研究Ⅱは、昨年度に引き続き2件の承認となり、若手会員の研究へのモチベーションの高さが感じられる結果となりました。

学術部では全県士会会員に対し、積極的に研究を支援する体制を作っていきたいと思っております。来年度も研究にチャレンジしてみたい方、若手の方などの多くの応募をお待ちしております。

研究組織	氏名	所属	研究内容	助成金額(円)
研究Ⅰ	松岡 太一	福井記念病院	精神障害領域における作業機能障害の評価に基づく支援の効果検証—多施設間事例集積研究—	190,000
研究Ⅱ	加藤 実帆子	川崎市中央療育センター	重度心身障がい児の視線入力装置による意思表示の評価とその効果について	133,000
研究Ⅱ	黒崎 空	北里大学病院	神経膠芽腫患者に対する Occupation Based Practice の実践が、健康関連 QOL に与える効果の検討	76,488

スキルアップ研修会『発達領域に携わる作業療法士に必要な知識と技術～ライフステージに応じた発達支援と生活支援～』の活動報告

(文責：学術部 梶原 真樹)

学術部主催スキルアップ研修会は、9月29日(日)に大阪発達総合療育センターに勤務されております、認定作業療法士・特別支援教育専門作業療法士の米持喬先生を招いて講義して頂きました。

講義内容としては、1. 子どもを取り巻く社会的背景・2. 子どもの発達とその援助・3. 乳幼児期～幼児期(家族への子育て支援)・4. 学童期 (ADL獲得に向けて食事・更衣・視知覚)・5. 青年期 (二次障がい)・6. 成人期・7. 海外で活かせる日本の作業療法の技術と、盛りだくさんの内容でした。一般的な知識だけではなく実際に米持先生が経験した症例動画を交えた講義をして頂き、参加して頂いた皆様からも好評を頂きました。

また、今回は初の試みでもある、子供を連れての聴講

が可能な『サテライト教室』を行いました。至らない点もありましたが、アンケート結果からも好評を頂きました。

【アンケート一部抜粋】

- ・子供も同伴可能とのことで、預け先など気にすることなく参加することができ大変助かりました。
- ・サテライトを利用させて頂きましたが、子連れで参加することが出来ました。今後も機会があれば利用したいです。

学術部スキルアップ研修班では、今年度も様々なスキルアップ研修会を開催予定です！皆様のご参加を心よりお待ちしております。



メイン会場の講義の様子



サテライト教室と質疑応答の際にメイン会場に来ていただいた際の様子



地域リハビリテーション部

(文責：地域リハビリテーション部 遠藤 陵晃)

活動予定

2019年度地域リハビリテーション部は、地域包括ケアシステム・地域共生社会に参画が出来るような作業療法士の人材育成を行っていききたいと思い研修会を実施しています。

右記(予定)の日程で地域リハ部主催の研修会を実施します。

研修会名	日程	会場
特別支援教育研修会	1月19日予定	横浜 YMCA 学院専門学校
難病リハ講習会	2月9日予定	横浜 YMCA 学院専門学校
地域リハ研修会	3月予定	未定

地域リハビリテーション人材育成研修会介護予防編

令和元年10月6日、ウィリング横浜にて地域リハビリテーション部主催の研修会が行われました。本研修会は神奈川県生涯教育推進事業の委託を受けて開催しています。今回のテーマは介護予防編として、前半は地域リハビリテーションの概論、横浜市と海老名市の取り組みについて実践的な講義、後半は大和市の取り組みについてと地域支援事業に欠かせないグループ評価についてのグループワークが行われました。各市町村により地域リハビリテーションにおける作業療法士が派遣される制度が異なることが印象的でした。また、大和市からは行政、地域包括支援センター、病院所属の作業療法士、それぞれの立場から、地域包括ケアシステム構築に向けて、今

後の展望について議論がなされました。今後、超高齢化社会に伴い、介護予防の視点がますます重要視されます。本研修が地域で作業療法士が必要とされるために、各所属病院・施設において何ができるのか、考えるきっかけにしていただければと思います。

地域リハビリテーション部では引き続き研修会を企画しております。地域に出たことがない方も経験者もお気軽にご参加ください。最後に、「地域は専門職に学び、専門職は地域に学ぶ」本研修会講師の大和市福田北包括支援センター中山氏からの言葉です。さあ、始めましょう、地域でOTを！



制度対策部・災害対策班

(文責：災害対策班 西 則彦)

災害時の安否確認システムシミュレーションにご協力頂きましてありがとうございました。

今回は、OT協会の実施方法と合わせまして、発災時期を明確にしその後から入力するという方法で行いました。

みなさまの手にのご案内のチラシが届いてから時間が空いてしまったので、入力者は少ないかとも予想しましたが、発災から1日目で57件、3日目までで84件、7日目までで91件の入力がありました。たくさんの方

のご協力、誠にありがとうございます！

今後は、このデータをどのように生かしていくかを広報誌等を用いてお知らせするとともに、JRATや神奈川JRATといった、関係機関との連携についてもお伝えしていく予定です。

今後とも、災害対策に関心を持っていただければと思います。まずは、入力いただきましたことの御礼と結果報告をさせていただきます。

教育部 **連載**「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」 県士会ウェブサイトから質問ができます！

(文責：教育部 奥原 孝幸 (神奈川県立保健福祉大学) 046-828-2738 (直)、kyoiku@kana-ot.jp)

このコーナーは、県士会教育部関連の情報をご案内していきます。教育部はOT協会の生涯教育制度に関する事業を主に展開しています。また今年度から臨床実習指導者講習会の開催も予定しています。教育部の情報はこの県士会ニュースと県士会ウェブサイトを通じて発信されます。

今号では、これからでも間に合う生涯教育制度関連の研修会を中心にご案内いたします。以下の研修会は、県士会ウェブサイトに掲載していますので、ご参照ください。

- 1. 現職者共通研修**：生涯教育制度の必須基礎研修、全10テーマ。
12月15日、12月22日、2月24日：事例報告会（事例報告、事例検討の2テーマ）
- 2. 現職者選択研修**：生涯教育制度の必須基礎研修、必修のMTDLP基礎研修に加えて領域別に1領域を選択。
2月2日：発達障害領域、2月9日：老年期領域
MTDLP基礎研修に関してはMTDLP推進委員会にて開催

※神奈川県士会では、一年間で必須基礎研修が修了できるよう企画、開催しています。

- 3. 臨床実習指導者講習会**：2020年度以降入学生の臨床実習指導に関して資格要件が設けられ、厚労省指定の講習会の受講等が義務付けられました。ぜひご受講いただき、作業療法士の根幹である養成教育へのさらなるご協力をよろしくお願い致します。

第1回 終了

第2回 1月11日～12日（受付：受付終了）

第3回 3月20日～21日（受付：12月1日～15日）

その他、研修会等参加証明書、県士会の役員や部員・委員などの県士会裁量ポイント、「作業療法」掲載論文・事例報告登録制度への登録事例等のポイント化手続きは県士会事務局にて随時受け付けています。なお、基礎研修修了、認定作業療法士、専門作業療法士関連の申請はOT協会です。ご不明の点はどんなことでもご連絡ください。県士会ウェブサイトからも質問ができます。

第4回神奈川県訪問リハビリテーション学術集会開催

神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会では、毎年訪問リハビリテーション学術集会を開催しています。今年度は『ACP（アドバンス・ケア・プランニング）』に焦点をあてて、みらい在宅クリニック 開田 脩平医師にご講演をいただき、2020年1月18日（土）横浜市の関内新井ホールで開催予定となっております。訪問リハビリに従事している方やこれから従事する予定のある方はもちろんのこと、興味のある方なら誰でも参加できます。事前登録も開始していますので下記のホームページより申し込みをお願いします。

地域共生社会に生きる私たちも専門職としてや地域住民としての立場で地域の課題に『自分事』として目を向けていきましょう。

[学術集会ホームページ⇒](https://kana-houmon-reha-gakai.jimdo.com/)

<https://kana-houmon-reha-gakai.jimdo.com/>

(文責：遠藤 陵晃)

神奈川県 第4回 訪問リハビリテーション学術集会

2020年1月18日(土)
場所：関内新井ホール / 時間 10:00-16:00

訪問リハの質的向上を目指し、2016年から始まった学術集会。日頃の訪問リハでの成果を発表する、また同志の活躍を聴講する貴重な機会です。皆さんで神奈川県での訪問リハを更に高めていきましょう！

詳細は WEB へ	
参加費	
神奈川県 理学療法士会 会員	¥3,000-
神奈川県 作業療法士会 会員	¥3,000-
神奈川県 言語聴覚士会 会員	¥3,000-
その他	¥6,000-

共催：公益社団法人神奈川県理学療法士会
公益社団法人神奈川県作業療法士会
公益社団法人神奈川県言語聴覚士会
神奈川県訪問リハビリテーション三団体協議会

研修会案内

● **新人でも明日からできる！筋膜とアナトミートレインを用いたアプローチを実技を通して学ぼう！**

～臨床で使える！筋膜アプローチの『美味しいとこ取り』で学んでみよう！～

主催：MediArt（メディアアート）

日時：2019年12月1日

場所：横浜市営地下鉄ブルーライン センター南駅徒歩6分
総合施設 会議室

URL：<https://mediart2016.jimdo.com/>

● **パーキンソン病に対する効果的な介入（発症早期のパーキンソン病への運動指導から患者指導まで）**

主催：コウセラ

日時：2019年12月6日

場所：金沢公会堂 多目的室

URL：<https://koutheraken.jimdo.com/>

● **令和元年度公認心理師現任者講習会（JTA）**

主催：一般社団法人日本遠隔カウンセリング協会（JTA）

日時：● CIRQ（シルク）新宿：2019年12月7・8・28・29日（全4日間）

● AP日本橋：2020年1月10・11・12・13日（全4日間）

場所：CIRQ（シルク）新宿、AP日本橋

URL：<https://kouninshinrishi.jtaonline.or.jp/>

● **第1弾 臨床につなげられる身体機能の評価の仕方（動作分析時の6つの視点！）ベテランと言われる人は、このように見ていた！**

主催：MediArt（メディアアート）

日時：2019年12月8日

場所：横浜市都筑区中川中央1-4-4 ブランズセンター北1階

URL：<https://mediart2016.jimdo.com/>

● **精神障害者の回復に必要なトータルリハビリテーションの視点を学ぶ～臨床で生かせる実践的評価法～**

主催：神奈川県臨床精神科作業療法研究会（かなりけん）

日時：2019年12月14日

場所：ウィリング横浜

URL：igiyomogi@yahoo.co.jp

● **【触診が苦手な方限定】ROMexを効率的に行うための触診・アプローチ法セミナー【体幹編】**

主催：療法士活性化委員会

日時：2019年12月14日

場所：ウィリング横浜 ゆめおおおかオフィスタワー

URL：<https://lts-seminar.jp/rom/>

● **【1単位20分で変化を出す】**

膝疾患に対する評価とアプローチ法

主催：療法士活性化委員会

日時：2019年12月15日

場所：ウィリング横浜 ゆめおおおかオフィスタワー

URL：<https://lts-seminar.jp/theknee/>

● **車椅子設計採寸技術と車椅子メンテナンスセミナー～付属のキットと工具で技術を習得しよう～**

主催：日本ユニバーサルリハビリテーション協会

日時：2019年12月20日

場所：八王子市芸術文化会館いちようホール

URL：<http://universalreha.com/>

● **ものづくりシーティングセミナー 原理編×工房実技編～シートクッションを1からつくり上げる～**

主催：日本ユニバーサルリハビリテーション協会

日時：2019年12月21日

場所：府中市生涯学習センター

URL：<http://universalreha.com/>

● **胸郭運動システムの再建法を理解・習得するー呼吸と姿勢でバランスを整える**

主催：ヒューマン・プレス

日時：1日目：2020年1月25・26日

場所：Breathing Care Tokyo

URL：<https://human-press.jp/seminar/seminar034.php>

● **ICUにおける人工呼吸患者のリハビリテーション in 東京（2日間）**

主催：ヒューマン・プレス

日時：1日目：2020年2月1・2日

場所：東京工科大学 蒲田キャンパス

URL：<https://human-press.jp/seminar/seminar030.php>

● **アクティビティ インストラクター資格認定セミナー**

主催：認定NPO法人芸術と遊び創造協会 高齢者アクティビティ開発センター

日時：2020年2月2日

場所：中野サンプラザ

URL：https://artplaylab.jp/activity_care/activity_instructor_seminar/

第4回神奈川県臨床作業療法大会の開催のお知らせ

大会長 錠内 広之 (県士会会長) 実行委員長 望月 強併 (日本鋼管病院)

会期：2020年12月12日(土)
会場：関内新井ホール
(神奈川県横浜市中区尾上町1丁目8)

神奈川県作業療法士会では、隔年で県学会と臨床大会を開催しております。今回の大会は演題発表を中心に実施いたします。多くの演目の発表と会場での質疑応答を

通じて、発表者ならびにご参加いただく皆様の臨床での成果や課題を共有し、学びを深めていただきたく考えております。皆様が日頃から行なっている臨床を、形にして発表してみませんか？初めての方などにもぜひ挑戦していただきたいです。

詳細は後日、ニュースやホームページ等で配信していきます。多くの演題発表ならびにご参加をお待ちしております。

事務局からのお願い

● 休会される方 ●

来年度に休会予定の方は、前年の**12月31日**(末日消印有効)までに①『休会届』と②『証明書』を郵送でご提出願います。
(FAX不可)。

● 退会される方 ●

年度内に退会予定の方は、**3月15日**までに『退会届』を①郵送又は②FAXにてご提出願います。
(上記日必着)。

● 届出内容を変更される方 ●

住所・勤務先・氏名・送付先等の変更がある方は、『変更届』を①郵送又は②FAXにてご提出願います。
(随時受付)。

届出書類は、神奈川県作業療法士会ホームページ[公式ウェブサイト](#)のINDEXより、ダウンロード可能です。なお期日までにご提出いただけない場合は、次年度の会費が自動引落としとなり、返金を致しかねます。ご了承ください。

編集後記

ラグビー・バレーボール・バスケットボール・サッカーなどスポーツでは日本が大活躍の秋でしたね。ますます東京オリンピックも楽しみになります！チケットは1枚も当たりませんでした。。そして、神奈川県作業療法士協会ニュースは記念すべき200号となりました。令和元年のニュースは200号にて締め括りとなります。今年も大変お世話になりました。来年も神奈川県の作業療法士一丸となって頑張っていきたいと思います！！寒くなりますが、お身体に気を付けてよいお年をお迎えください。
(くうさん)

台風19号(ハギビス)による被害について ～被害状況把握のお願い～

一般社団法人神奈川県作業療法士会 会長 錠内 広之

まずは今回の暴風・豪雨により、精神的・身体的に甚大な被害を受けた方、またはそのご家族、ご関係者様に、神奈川県作業療法士会を代表し、心よりお見舞い申し上げます。

台風19号は、令和元年10月6日南鳥島近海で発生し、その後10日19時頃に伊豆半島に上陸、関東、東北地方を中心に東日本各地に甚大な被害をもたらしました。10月15日現在、全国47河川で堤防が決壊し、神奈川、宮城、群馬、埼玉、茨城、岩手、長野、静岡、千葉において60名を超える犠牲者が報告されており、さらには行方不明者や家屋の損壊なども含めると、まだまだ被害の全容は把握されていないのが現状です。

神奈川県作業療法士会では、当会ホームページに被害状況を入力できる「災害時安否確認システム」を開設します。このシステムは当会と日本作業療法士協会が連携して災害対策の一つとして運用してきたものです。

そこで、会員の方へのお願いです。入力可能な時期に「災害時安否確認システム」に被害内容の入力をお願い

いたします。また被害に遭われなかった会員の皆様においても、現況の報告をお願いします。会員の皆様を通して、神奈川県内の被害状況の把握を実施いたします。神奈川県の人口920万人に対し、神奈川県作業療法士会会員2300名ではありますが、関連団体の情報も併せて、県内の被害状況を把握し、より具体的な支援に繋げていければと考えております。

被災された皆様に“今何ができるのか”“これから何ができるのか”を、我々執行部一同、真摯に検討していきたいと思っておりますので、まずは状況把握に関する情報の提供をお願いいたします。尚、収集されました情報や当会、そして日本作業療法士協会の動向につきましては、当会ホームページにあります、制度対策部のブログ内に災害関連情報として随時掲載していきます。

併せて、ネット対応が困難な方の情報も、会員の皆様の“草の根活動”でのご協力を賜りたくお願い申し上げます。

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ニュース (200号) 2019年12月発行(年6回発行)

発行責任者 錠内 広之

編集責任者 神保 武則

編集担当 出口 弦舞(国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科)

山岡 光(湘南慶育病院) / 佐藤 愛(新戸塚病院) / 安田 優子(横浜旭中央総合病院)

丸岡 ちひろ(済生会横浜市東部病院) / 松井 洋鷹(浏野辺総合病院)

印刷 発送 株式会社高陽印刷所

事務局 〒231-0011 横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301号

TEL/FAX : 045-663-5997

月火水木金 10:00~15:00

メールアドレス : jim@kana-ot.jp

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト

<https://kana-ot.jp> → 作業療法 神奈川 検索

Facebook

<https://www.facebook.com/kaotwebkan>

Twitter

<https://twitter.com/kaotwebkan>



kana-ot.jp